

オーディオ実験室収載

演奏会の再現(2)(HP 収載) —演奏会と各種メディアの比較(2)—

1. はじめに

前報の演奏会の再現ではギターリサイタルとその演奏家の CD などについて演奏会の再現状況について報告しました。今回も同様に演奏会とその演奏家の CD および NHK の放送録画について演奏会の再現状況を報告します。

2. 演奏会と比較メディア

聴いてきた演奏会と CD と放送録画は次のとおりです。

タカーチ弦楽四重奏団のコンサート

研究室日誌 9月 30 日

ハイドン：弦楽四重奏曲第 32 番「鳥」

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第 12 番「アメリカ」

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 9 番「ラズモフスキイ第 3 番」

ディスコグラフィー2019No.152

ハイドン String Quartet in B flat major Op 71 No 1

ハイドン String Quartet in D major Op 71 No 2

ハイドン String Quartet in E flat major Op 71 No 3

NHK BS3 クラシック倶楽部 11 月 20 日放送

ハイドン：弦楽四重奏曲第 32 番「鳥」

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 9 番「ラズモフスキイ第 3 番」

ケラス&タロー・デュオリサイタル

研究室日誌 12月 2 日

ドビュッシー チェロとピアノのためのソナタ

ブラームス チェロとピアノのためのソナタ第 2 番

ショパン(ポッパー編) 夜想曲 op.9-2

フォーレ 「夢のあとに」 op.7-1、「蝶々」 op.77

ポッパー セレナード op.54-2、マズルカ ト短調 op.11-3

ハイドン(ピアティゴルスキイ編) デュエルティメント ニ長調

Hob.XI-113 より第 3 楽章

クライスラー「愛の悲しみ」、「愛の喜び」

ブラームス(ケラス&タロー編) ハンガリー舞曲 第 1,4,11,2,14,5 番

ディスコグラフィー2019No.159

Brahms チェロ・ソナタ第 1 番ホ短調 Op.38
 Brahms チェロ・ソナタ第 2 番ヘ長調 Op.99
 Brahms ハンガリー舞曲集より第 1,4,5,7,11,14 番(ケラス&タロー編曲版)
 NHK BS3 クラシック倶楽部 1月 7 日放送
 ドビュッシー チェロとピアノのためのソナタ
 Brahms チェロとピアノのためのソナタ第 2 番
 Brahms ハンガリー舞曲集より第 11,2,14,5 番 (ケラス&タロー編曲版)

3. 比較メディアの試聴

演奏会の様子は上記の研究室日誌を、CD は該当するディスコグラフィーの報告を参照願います。

今回は、DNR-UNZ1 の録画を鑑賞しつつ、演奏会の様子は記憶を辿り、CD は要時再生して比較していきます。

タカーチ弦楽四重奏団の演奏では、演奏会と放送録画とは、重複曲がありますが、CD ではありませんので、演奏会の印象は放送録画の再生と同じ曲で比較できますが、CD では別の曲での比較となります。

放送録画の再生では、演奏会の雰囲気を感じられるものの、演奏会で聴けた、このグループ特有の透明感のある澄んだ音が出し切れていない印象です。CD 再生では、曲も違いますが、かなりのところ演奏会の音を再現できているもの、やはりこのグループ特有の透明感のある澄んだ音が出し切れていません。

ケラス&タローデュオリサイタルでは、演奏会と放送録画と CD で重複曲がかなりありますので、演奏会の印象と放送録画の再生と CD の再生と同じ曲で比較できます。

放送録画も CD もともに演奏会の雰囲気を良く再現できています。演奏会と放送録画はホールの違いがあるものの、放送録画の方が時期も近く、より演奏会の雰囲気を生き生きリアルに伝えてくれます。CD も放送録画よりは劣りますが、最近のケラスとタローの演奏を知る上に良い音源です。

4. まとめ

以上のように、同一曲を聴き比べていきますと、演奏家による曲の解釈がよく分り、メディアの違いもよく分かります。このように、演奏会の印象を CD や BS 放送録画などで復習すると演奏会の印象をトレースでき、会場や録音条件の違いによる音の違いも分かります。

以上